



27フロントフォークキット 取扱説明書

(10インチ/ドラムブレーキ/折りたたみハンドル専用)

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

商品番号：06-01-0023

適応車種及びフレーム番号

Monkey/Gorilla	:Z50J	1300017~
	:AB27	1000001~
Monkey(FI)	:AB27	1900001~

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

分解、取り付け作業はホンダサービスマニュアルモンキー/ゴリラ用を必ず参照し確実に行って下さい。

当キットは10インチホイール専用です。

当キットを取り付ける際には、10インチアルミホイールチューブタイプ(06 09 033/054)のホイールが必要となります。

当キットにはヘッドライトステー、ウインカーステー、ステアリングハンドルは含まれていません。別途お買い求め下さい。

ヘッドライトステーは弊社アルミヘッドライトステー(09-03-007、008)及び(09-03-075)をご使用下さい。

当製品を取り付け、当社製ハイスロットルもしくはブレーキレバーを取り付ける場合、下記の部品が必要となります。

取り付けネジサイズ10mmのミラー(各1個入り)

オーバルスライドタイプミラー (06 01 110)

NC31タイプミラー (06 01 111)

角スライドタイプミラー (06 01 112)

MINIミラー(右専用) (06 01 113)

ブレーキレバー

クイックレバーASSY. (06 08 3005)

ブレーキレバー (06 08 3002)

FI車の場合、ブレーキスイッチの接続端子が異なる為、別途サブコード(37600 KCZ T00)が必要となります。

FI車の場合、ハイスロットル(09 02 0304)が必要となります。

ハイスロットル

当社PD22、PE24、VM26、PE28キャブレターキット使用の場合

ハイスロットルセット(ケーブル長810mm)(09 02 0221、09 02 0230/0231)

ハイスロットルセット(ケーブル長700mm)(09 02 0222、09 02 0232/0233)

STDキャブレター及び当社PC18、PC20、PD22、PE24キャブレターキットの場合、下記ホンダ純正部品の購入で取り付け可能です。(PD22、PE24の場合は、ハイスロットルの使用も可能です。)

ホンダ純正部品

スロットルハウジング(1個) (53168 166 000)

スロットルハウジング(1個) (53167 GE4 000)

パンスクリュー 5x22(2個)(93500 05022 0G)

フレーム番号Z50J 1300017~1510400の車両の場合、純正スロットルケーブルの使用は不可です。

STDキャブレターの場合、ケーブルCOMP、スロットル(17910 165 640)が必要です。

フレームNO.Z50J-1300017~1510400の車両に当製品を取り付ける場合、別途下記部品が必要です。

遠心クラッチ車

コンビネーションスイッチASSY (02 01 015)

マニュアルクラッチ車

クラッチレバー&コンビネーションスイッチASSY (02 01 016)



注意

この内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業を行う際は、平坦で足場のしっかりした所を選び車両を安定させた状態で行って下さい。
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に行って下さい。(ネジ部の破損及び脱落の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して下さい。
- ・フォークトップボルトを取り外す際にフォークスプリングによりトップボルトが飛び出す危険性がありますので、十分注意して下さい。



警告

この内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術、知識などが無い方は作業を行わないで下さい。(部品破損などの原因により、転倒、事故につながる恐れがあります。)
- ・走行前には、必ず各部の取り付け状態を点検し、緩み等が無いかを確認して下さい。又、走行中異常が発生したと思われる場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ異常個所の点検を行って下さい。(そのまま走行すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ブレーキライニング、ブレーキシューに油脂類を付着させないで下さい。付着した場合はブレーキシューは交換し、ブレーキライニングは脱脂して下さい。(事故につながる恐れがあります)
- ・ブレーキの取り付け作業については熟練したメカニックに依頼し、専用の設備、工具のある工場等で行って下さい。(事故につながる恐れがあります)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

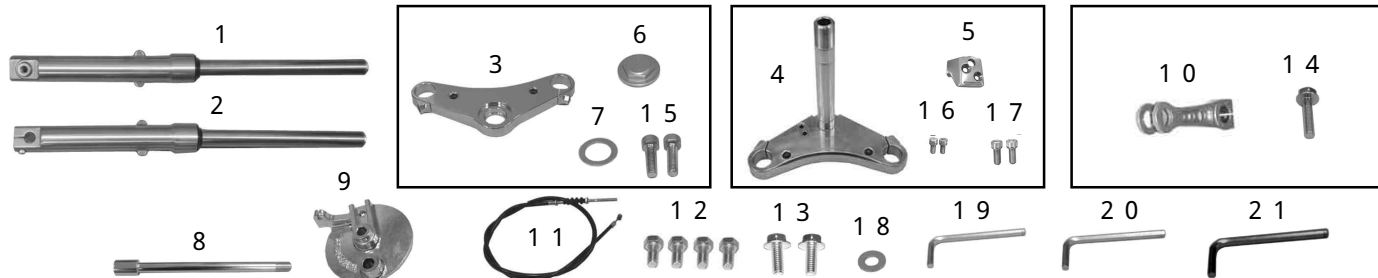
この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

～商品内容～

06 02 004

06 07 005

06 08 303



番号	部品名	個数	リペア品番	入数	番号	部品名	個数	リペア品番	入数
1	L.フロントフォークASSY	1	51522 181 T00	1	12	六角ボルト	6×10	4	00 00 0307
2	R.フロントフォークASSY	1	51422 181 T00	1	13	フランジボルト	6×15	2	00 00 0114
3	フォークトップブリッジ	1			14	フランジボルト	6×25	1	00 00 0115
4	ステアリングステムCOMP	1			15	ソケットキャップスクリュー	6×20	2	00 00 0043
5	ステアリングロックブラケット	1			16	ソケットキャップスクリュー	6×12	2	00 00 0116
6	ステムナット	1	54303 165 T00	1	17	ソケットキャップスクリュー	8×20	2	00 00 0117
7	フォークトップワッシャ	1	90503 165 T00	1	18	ブレーンワッシャ	6mm	1	00 00 0086
8	フロントアクスルシャフト	1	44301 GEF T10	1	19	六角棒レンチ	5mm	1	
9	フロントブレーキパネルCOMP	1	45100 165 T00	1	20	六角棒レンチ	6mm	1	
10	ブレーキアーム	1			21	六角棒レンチ	10mm	1	
11	フロントブレーキケーブル 9.40mm	1	45451 165 T20	1					

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

～取り付け要領～

分解

1. フロントのアクスルナットを緩めます。
2. リアメンテナンススタンドとエンジン下部に適当な台を置き、車両を安定させた状態で作業を行います。
フロントタイヤが少し浮く程度の高さにします。
3. ホイール側のブレーキケーブルを取り外します。
4. ヘッドライトの左右のボルトを外し、ヘッドライトを取り外します。
5. ホーン、ウインカーを取り外します。
6. アクスルナット、アクスルシャフトを抜き取り、フロントホイールを外します。
7. トップブリッジ裏面のハンドルローホルダーのナットを外し、ステアリングハンドルASSYを取り外します。
8. フォークボルト、ステムナット及びワッシャを外し、トップブリッジを取り外します。
9. トップスレッドを外し、フォークASSYを取り外します。
ベアリングのボールを無くさないようにして下さい。
10. ノーマルのステアリングステムからハンドルロックを取り外し、ステアリングロックブラケットに取り付けます。
トルク: 9 N・m (0.9 kgf・m)

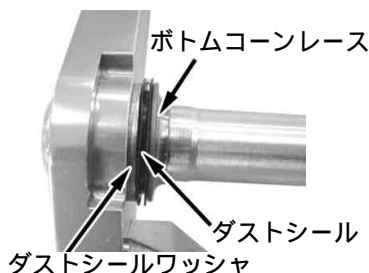


組み付け

11. ステアリングロックブラケットをソケットキャップスクリュー(6×12)でステアリングステムに取り付けます。
トルク: 12 N・m (1.2 kgf・m)



12. ステアリングステムのボトムコーンレースをポンチドライバーやタガネ等で取り外し、ダストシール、ダストシールワッシャを取り外します。ジュラルミンシステムシャフトにダストシールワッシャ、ダストシール、ボトムコーンレースをそれぞれ取付けます。



13. トップコーンレース及びボトムコーンレースにグリスを塗布し、ベアリングをステアリングステム、ヘッドパイプに取り付け、トップコーンレースをヘッドパイプに取り付けます。
ベアリングのボールが樹脂に組み込まれていないタイプの場合はボトムコーンレース、トップコーンレースにそれぞれ21個ずつ取り付けて下さい。
ベアリングはグリスを塗る前に洗油で洗い、ゴミを付着させないで下さい。



14. ステアリングステムをヘッドパイプに通し、トップスレッドは手でいっぱいに締め付けます。左右に4、5回躍動させベアリングをなじませ、約1/8回転戻し、ガタが無く軽く動くことを確認して下さい。



15. ステアリングステムにフロントフォークのアクスルホルダーにブレーキの回り止めが付いている方を進行方向に向かって右側に通し、ステアリングステム割り締めボルト(8×20)を仮り締めします。



⑩ ← 回り止め

16. 左側を右側と同様に取り付けます。フロントフォーククランプタイプのヘッドライトステーを使用する場合は、ヘッドライトステーをフロントフォークに通して下さい。



17. ワイヤーハーネス等の取り回しがノーマルと同じになるようにしながらトップブリッジをフロントフォークとステムシャフトに通し、ステムワッシャを入れてステムナットを指定トルクで締め付けます。
トルク：59N・m(6.0kgf・m)



18. ステアリングステムの割り締めボルトを緩め、インナーチューブの突き出し量と同じになるように調節します。



19. ステアリングステムの割り締めボルトを指定トルクで締め付けます。

トルク：26N・m(2.7kgf・m)

20. トップブリッジの割り締めボルト(6×20)を指定トルクで締め付けます。

トルク：12N・m(1.2kgf・m)

21. ステアリングハンドルASSEMBLYをトップブリッジに取り付け、ハンドルホルダーをナットで締め付けます。

トルク：39N・m(4.0kgf・m)



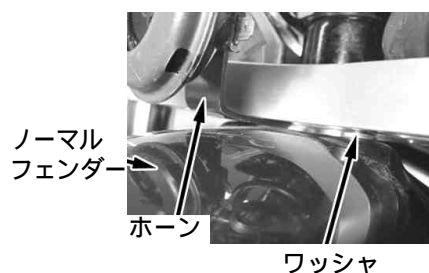
22. ホーンを取付けます。(写真はステアリングステムに取り付けた場合です。) ステアリングステムに取り付ける場合、写真の様に折り曲げ、フランジボルト(6×15)で取り付け、締め付けます。
トルク：12N・m(1.2kgf・m)



ノーマルフェンダーを使用する場合、フロントフェンダー及びボルトをそのまま付け替えて下さい。

ノーマルフロントフェンダーを使用し、ホーンをステアリングステムに取り付ける場合、フロントフェンダーとステアリングステムの間にホーンを挟み、もう片側は1.5mm程の厚さのワッシャを挟むようにして取り付け、フランジボルト(6×15)で締め付けます。

トルク：12N・m(1.2kgf・m)



23. フロントホイールのハブとホイールを固定しているナットを取り外し、エアバルブが左側になるように10インチホイールにハブを取付けます。

トルク：25 N・m (2.5 kgf・m)

弊社チューブレス10インチアルミホイールに取付ける場合、エアバルブが右側になるようにし、ホイールとハブの間に専用スペーサーを挟んで取り付けて下さい。



24. ブレーキシュー、フロントブレーキカムを弊社ブレーキパネルに付け替えます。

弊社ブレーキアームをフランジボルト(6×2.5)でフロントブレーキカムに取り付けます。

トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)

フロントブレーキカムは古いグリスを拭き取り、新しくグリスを塗布します。

ノーマルブレーキレバーで取り付ける場合、フロントブレーキカムにある丸印の凹みと、ブレーキアームの丸印の凹みを合わせず、反時計回りに1コマずらして取り付けて下さい。



25. キット内のアクスルシャフトに薄くグリスを塗布してフロントホイールを外した時と逆の手順で取り付けます。



26. ブレーキケーブルを付属のブレーキケーブルに交換します。

27. ブレーキケーブルをノーマルと同じように取り回し、ブレーキパネルに取り付けます。

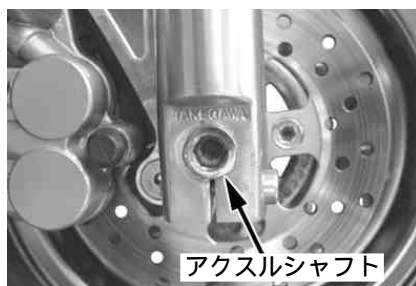
28. ヘッドライトを取り付けます。

29. ウィンカーを取り付けます。

30. 車両をメンテナンススタンドと台から下ろします。

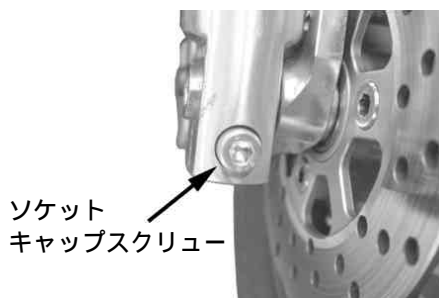
31. アクスルシャフトを締め付けます。

トルク：60 N・m (6.0 kgf・m)



32. アクスルシャフトの側面にあるソケットキャップスクリューを締め付けます。

トルク：20 N・m (2.0 kgf・m)



フロントフォークオイルの交換要領

1. フォークトップボルトを緩めます。
2. アクスルシャフトの側面にあるソケットキャップスクリューを取り外します。
3. フロントのアクスルシャフトを取り外します。
4. リアメンテナンススタンドとエンジン下部に適切な台を置き、車両を安定させた状態で作業を行います。
フロントフォークがちょうど伸び切る程度の高さにすると作業がしやすくなります。
5. アクスルシャフトを抜き取り、フロントホイールを外します。
6. トップブリッジ、ステムの割り締めボルトを緩めフォークを取り外します。
7. トップボルトを飛び出さないよう注意して外します。オイルパンなどを用意し、フォークを逆さにしてスプリングを抜き取ります。
8. インナーチューブを伸縮させフォークオイルを抜き取ります。
(数分間インナーチューブを下側にし放置して下さい。)
9. フロントフォークを立て、フォークオイルを注入します。
フォークオイル粘度：40 mm²/s (ASH 40)
フォークオイル量：75 cc (1本)
オイルレベル：75 mm
フォークオイル交換時はASH 40又は、他メーカーの場合10番もしくは15番のフォークオイルをご使用下さい。
オイルレベルはインナーチューブを数回、静かに伸縮させ、混入しているエアを抜く。
インナーチューブを一杯に縮めた状態にし、オイル面が安定してから測定する。
10. フォークスプリングに付着したオイルを拭き取り、ピッチの狭い方を底に向けスプリングを入れます。トップボルトを取付け、仮締めします。
11. フロントフォークをステム、トップブリッジに取り付け、割り締めボルトを仮締めします。
12. トップボルトを指定トルクで締め付けます。
トルク：20～24 N・m (2.0～2.5 kgf・m)
13. ステアリングステム、トップブリッジの割り締めボルトを指定トルクで締め付けます。
トルク：ステアリングステム 26 N・m (2.7 kgf・m)
トップブリッジ 12 N・m (1.2 kgf・m)
14. フロントホイールを、外したときと逆の手順で取り付けます。
トルク：アクスルナット 60 N・m (6.0 kgf・m)
ソケットキャップスクリュー 20 N・m (2.0 kgf・m)

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721 25 1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>